

劇団 | 生命座 **上演のご案内**

——語りと劇で綴る——

310万人の送りバント

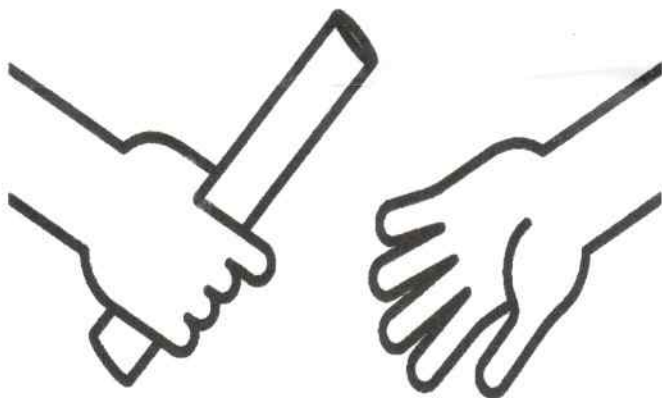
脚本・演出 鷹青由加子

令和4年6月11日(土)・12日(日)

北本市文化センター 第1・2会議室

——お待たせしました！

およそ2年ぶりの生命座舞台——



—どんな状況下でも
メッセージを届ける手をとめない—

今回、初の劇団だけで作った
小さな舞台空間で
リモートでは決して味わえない
迫力のひとときをご堪能ください

●ご予約・お問い合わせは、生命座 HP 又はチラシ裏面をご参照下さい。

なお、先着により予定枚数に達した時点で終了となるため、なるべくお早めのご予約をお勧めします。

※今後ご案内が不要の方はお手数ですが、生命座 HP からご一報下さい。

310万人の 送りバント

※日中戦争から戦後現在に至るまで国内で犠牲となった命はおよそ310万人と言われている

「頼むよ、もう二度と戦争が起きないように、
忘れないように、繋いでいっておくれよ」

令和四年六月十一日(土)十四時開演

十二日(日)十二時三十分開演

(全二回公演・開場は開演の三十分前)

埼玉県北本市文化センター第一・二会議室

入場料 二千円(前売・当日共・全席自由)

※未就学児入場不可

後援 北本市教育委員会

北本市文化団体連合会

310万人の送りバント

【cast】

藤田俊之	みすき康人
芝田達哉	安部稜世
指寿川妙子	戸谷敦子
長島あさこ	鈴木克己
小川遵枝	平川淳子
YUI	依透幸子
仲西りん	伊藤松治
(アイリンク株式会社)	鷹青由加子

【staff】

脚本・演出 鷹青由加子
 音響編集 三戸百恵
 音響操作 君らそんなんで委員会
 照明 (株)テイク
 大道具 鈴木克己・芝田達哉
 小道具 長島あさこ・安部稜世
 衣装・メイク 小川遵枝・依透幸子・長谷川待子
 映像撮影・編集 君らそんなんで委員会
 宣伝・制作 指寿川妙子・佐藤弘幸・藤田俊之・
 中沢未来・他生命座スタッフ

【後援】 北本市教育委員会
 北本市文化団体連合会

…いつの時代も隙あれば戦争というウイルスが侵入してこようとしている、平和は決して当たり前にあるものじゃない(ある体験者の証言より)

…戦争は身体に銃弾を受けなくても、銃弾を受けたのと同じ痛みを与えることができるのです(ある体験者の証言より)

戦時下を生き抜いた人達の様々な証言を元に、語りと劇で問いかける、心が熱く揺さぶられる生命座渾身の舞台

…そして、たくさんの動物たちも
 戦争の、人間の、犠牲となった…

【公演日時】

2022年6月11日(土) 14:00 開演 (13:30 開場)
 6月12日(日) 12:30 開演 (12:00 開場)

【会場】

埼玉県北本市文化センター 3階 第1・2会議室

【入場料】

¥2,000 (前売・当日共) 全席自由

※未就学児入場不可。尚、消毒やマスク着用をお願い、席数減数など感染対策は万全を期して行います

【予約・お問い合わせ】

生命座 HP <http://www.seimeiza.net/>

生命座事務局 メール mail@seimeiza.net

TEL/FAX 048-593-0204

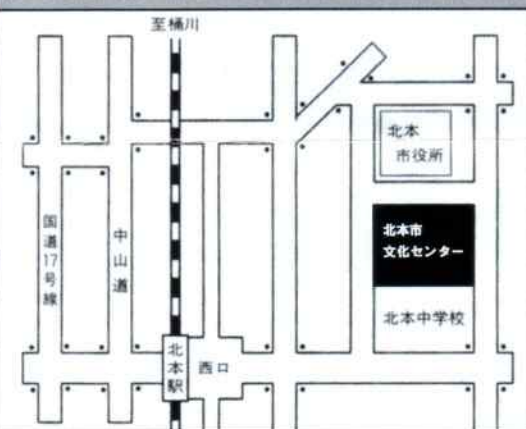


※ご予約の際は、お名前・ご観劇日・枚数・メールアドレスを明記の上、HPのお問い合わせフォーム又はメール、FAXにてご予約下さい

北本市文化センター

埼玉県北本市本町 1-2-1

TEL: 048-591-7321 / FAX: 048-591-7320



◆劇団生命座とは◆

2000年 旗揚げ公演『見えぬ敵』では、全一回公演で400名以上を動員。

2005年 体内で、がん細胞と壮絶に戦う正常細胞を描いた『鼓動を刻む聖戦』で第17回池袋演劇祭 日本映画協会賞受賞

2008年 御巣鷹山の飛行機事故をモチーフとした『その瞬間を抱きしめたい』再演で、第20回池袋演劇祭 豊島区長賞を受賞

2013年 現代の犯罪者の若者が特攻兵の記憶を辿る『テノヒラノ鎮魂華』で第25回池袋演劇祭 優秀賞受賞

主宰・鷹青由加子の作・演出作品は現代社会に鋭くメスを入れ、警鐘を鳴らす。遠方からのリピーターも増え、口コミで評判が広がっている。